

2026年3月31日

各 位

住 所 東京都渋谷区桜丘町26番1号  
会 社 名 GMOプロダクトプラットフォーム株式会社  
代表者名 代表取締役社長 荻田 剛大  
(コード番号: 3695 東証グロース)  
問合せ先 取締役 C F O 森 勇 憲  
(TEL: 03-5962-0037)

## 上場維持基準への適合に向けた計画（改善期間入り）について

当社は、2025年12月31日時点において、東京証券取引所グロース市場における上場維持基準に適合しない状態となっております。下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 当社の上場維持基準への適合状況、計画期間及び改善期間

当社の2025年12月31日時点（以下、「基準日」といいます。）における東京証券取引所グロース市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、流通株式比率については基準に適合しておりません。

当社は、今回不適合となった流通株式比率を充たすために、上場維持基準への早期の適合に向けた各種取組みを進めてまいります。

なお、2026年12月31日までの改善期間内に上場維持基準（流通株式比率）に適合していることが確認できなかった場合には、東京証券取引所より監理銘柄（確認中）に指定されます。その後、当社が提出する2026年12月31日時点の分布状況表に基づく東京証券取引所の審査の結果、同基準に適合していないと確認された場合には、整理銘柄に指定され、当社株式は、2027年7月1日に上場廃止となります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (2025年12月末時点)	1,342人	6,071単位	1,245百万円	13.6%
上場維持基準	150人	1,000単位	500百万円	25.0%
適合状況	適合	適合	適合	不適合
計画期間（改善期間）	—	—	—	2026年12月末

※ 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

## 2. 上場維持基準への適合に向けた取り組みの基本方針、課題及び取り組み内容

### (1) 基本方針

当社は、東京証券取引所グロース市場における上場を維持することを目指し、持続的な成長と企業価値の向上に資するための事業活動、資本政策に取り組むことにより、当社株式の魅力を高め、投資家の皆様が当社株式に投資しやすい環境を整えることで、投資家層の拡大と流通株式数の増加に取り組んでまいります。当社が東京証券取引所グロース市場における上場を維持することは、当社の今後の成長のために必要不可欠な要件であり、そのために取りうる施策を検討し、実行してまいります。

### (2) 課題

流通株式比率 25%以上の達成が、東京証券取引所グロース市場の上場維持における課題となっております。当社の親会社であるGMOインターネットグループ株式会社及びその子会社であるGMOインターネット株式会社の持株比率（合計）が72.8%であること、また、役員等所有株式の持株比率が10.0%であること等の要因により、流通株式比率が25%に満たない状態にあると認識しております。なお、当該課題及び流通株式比率を充足する重要性は、当社のみならず、当社の親会社であるGMOインターネットグループ株式会社も共通の認識となっており、今後はGMOインターネットグループとしてのシナジーを維持しつつ、上場会社としてより開かれた資本構成へ移行することも課題と認識しております。

### (3) 取り組み内容

GMOインターネットグループ株式会社等の法人株主の保有する当社株式の売却や立会外分売等による非流通株式の流動化、役員等所有株式の処分、当社の成長資金の確保を目的とする新株発行（増資）等の手法の検討にすでに着手しており、GMOインターネットグループ株式会社、その他外部の関係者との協議をすすめております。なお、GMOインターネットグループ株式会社からは、当社の上場維持基準の充足を実現すべく全面的に協力する旨の合意を得ており、今後の取り組みを進めるにあたり、強固な協力体制を整えております。

上記の手法、数量及び時期については、当社株式の市場における売買状況を考慮しながら、株価形成への影響に十分配慮したうえで、流通株式比率改善のための手法を決定してまいりたいと考えております。

また、上記の取り組みを実行しやすい投資環境を整えるため、四半期ごとの決算情報の法定開示・適時開示に加え、決算補足説明資料の作成・開示及び決算説明会の開催を四半期ごとに行い、当社の事業及び今後の成長性の理解を促す情報発信に取り組んでまいります。

## 3. その他

当社の今後の成長戦略について、「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」において説明しておりますので、あわせてそちらをご覧ください。

以 上